

泉佐野丘陵緑地 公園づくりの参加について（パーククラブのメンバー募集方法）

●背景

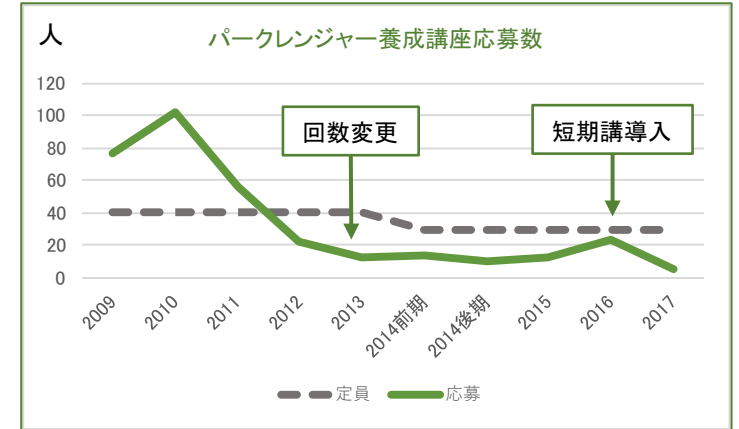
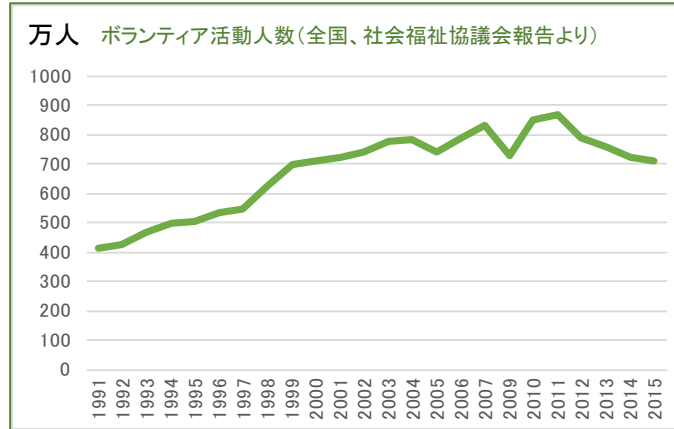
◎パーククラブのメンバー募集方法を見直す必要性

●ボランティア活動を取りまく社会状況の変化

全国のボランティア活動人数は2度の大地震を境に増加を続けてきたが、2011年をピークに減少し続けている。一方で近年では、65歳定年による働く時間の増加、NPOなど非営利セクターでの働く機会の増加などの要因もあり、市民参加を取りまく状況も変化してきている。これらの状況に対応する必要がある。

●パークレンジャー養成講座の応募数減少、入会後の参加率は3割以下

2010年には応募者101名を記録したが、以降は公園のオープンやSNSなどPRツールの拡充に反して応募数は減少を続けており、入会後の参加率も低い。
※応募者が養成講座を知った理由は、広報と口コミが半々。



①パーククラブのメンバー募集方法を変更する（案）・・・パーククラブの活動体験に転換し、仕組みの理解とメンバーとの交流を重視

これまでのパークレンジャー養成講座の修了が入会条件

① 2009～2012年度：養成講座は全11回、約1年間をかけて実施（全回に講師を招聘）



② 2013～2015年度：講座は全6回、約3ヶ月をかけて実施（全回に講師を招聘）



応募数減少やパーククラブの活動実態が具体化したことを受け、講座の回数を減らし入会へのハードルを下げること、実際の活動に必要な内容に絞ることを目的に回数を変更。しかし応募数は変わらず。

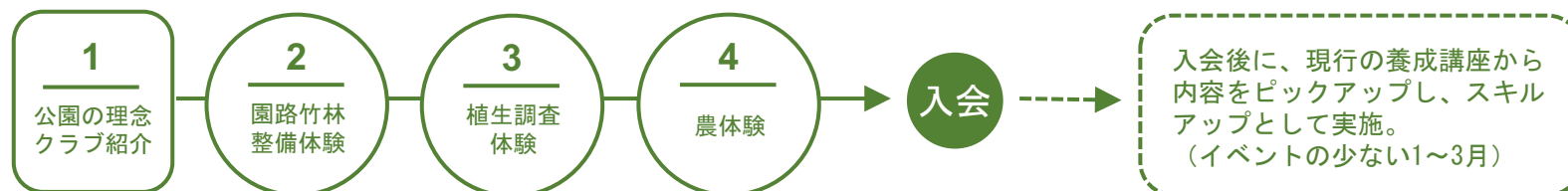
③【現行】2016～2017年度：②に短期講座を追加



- ・理念のビデオ講義とクラブ紹介を実施。受講するとパーククラブの活動への仮参加資格を得る。
- ・クラブへの入会には養成講座の修了が必要。修了しない場合は仮参加資格も失効。

養成講座中は受講生とパーククラブの接点が薄く、活動実態がわかりづらいことが応募数や参加率に影響していると考え、仮参加資格を与える短期講座を設置。しかし大半の人は仮参加資格を持っている間に活動に参加せず、養成講座の修了を迎える結果となっている。

●パーククラブのメンバー募集方法は「活動体験への参加」に変更、現行の養成講座は2年目以降のスキルアップへ



- ・1回目はレクチャーを行い、2回目以降はパーククラブの代表的なチーム活動を体験する。
- ・9月には活動体験を終え、イベントも多い10月頃から活動参加できるようにする。

メンバー募集方法はパーククラブの活動体験に転換し、クラブの仕組みの理解とメンバーとの交流を重視する。また活動に興味をもった人がスムーズに入会できるように、期間もコンパクトにする。現行の養成講座の内容はスキルアップに適応する内容と考えられるため、入会2年目以降に実施する。

変更案

②パーククラブの活動に興味を持ってもらう機会を増やす（案）・・・年間を通じて継続的に一般参加する人を募る

●単発によるプログラムの一般募集だけでなく、年間を通じて継続的に一般参加する人を募集することで、パーククラブの活動自体にも興味を持ってもらう

○今はプログラムは単発で一般参加する人を募集しており、パーククラブの活動全容（年間を通じた活動の流れ）を体験してもらうことが難しい状況。

現行の募集

一般募集プログラム（例として一部を記載）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
竹林・園路整備、活用体験 ※整備体験は2ヶ月に1度程、寒期以外で募集	タケノコ掘り		竹林園路整備	竹鉄砲づくり	竹林園路整備		竹林園路整備	竹トンボづくり	門松づくり	凧づくり		
植物の観察・育成・活用体験	野草観察		ササユリ鑑賞				野草観察	ピザづくり				キノコ栽培
農体験		タマネギ収穫	田植え	トマトスイカ収穫			稲刈り	タマネギ植え			ジャガイモ植え	

十・・・現行の募集方法も残しつつ

- 活動の流れをセットにしてプログラムとし、単発ではなく複数回継続して一般参加する人を募集する。
- まずはパーククラブと内容検討の上、募集しやすいものから試験的に実施する。

プログラムをセットにして募集（案）

セットにするプログラム例	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
竹林・園路整備、活用体験 ＜竹林の育成と活用を学ぶプログラム＞ として（例）	竹林整備体験、竹工作体験などをセットに											
植物の観察・育成・活用体験 ＜植物の育成を学ぶプログラム＞ として（例）	植物の育成体験、観察体験、料理体験などをセットに											
農体験 ＜里山の農を学ぶプログラム＞ として（例） ※年間参加と単発参加で区画分けの検討が必要	植えつけ体験、田畑の維持管理体験、収穫体験をセットに											



パーククラブの活動に興味を持った人には随時、オモテ面①の入会プロセスを案内する。